

# クローバーつうしん

CLOVER TIMES



2017年7月1日 第37号

公益財団法人 金森和心会

クローバー子供図書館 / 発行

〒963-8851 郡山市開成6-346-1

TEL/FAX 024-932-2118

<http://www.k-washinkai.or.jp/clover/clover.html>

## 「クローバー子供図書館との再会」

クローバー子供図書館利用者

永倉 道子

返却日の夕方、時間ギリギリになってしまった。焦りつつクローバー子供図書館へ行った日の事。「ちょっとお願いしたいことが…」との館長さんの一言に（すみません、もっと早く来なくてはすよね…）と心の中で勝手に同調したらまさかの原稿依頼。「えっ…」（いやいや分不相応ですし、文章を書くなんて出来ませんのに…）と逡巡するも「大丈夫ですよ、一二〇〇字程度ですから。作文と思っただけければ。」と畳みかけられ「ええっ…（結構な文字数）辞退できる選択の余地は無いらしく（？）少し返事を待って頂き、意を決するのにな。思いを巡らせながら幼い頃に出会っていたクローバー子供図書館のことを少し書きたいと思います。私は小さい頃から読書が好きでした。と言うのも、きつと母がよく市の図書館（須賀川）へ私たち姉妹を連れて行ったことが少なからず影響していると思います。図書館という場所はとても静かで、足音だけが良く響くなあと感じたものです。本の独特の香り、パラパラとページを捲る音、面白い本を見つけた時のなんとも表現しにくい気持ち。その頃どんな本を選び読んでいたのかは覚えていませんが、とにかくいろいろな本を読んだり、読んでもらったりしていました。

昔読んだ本の中で記憶に残っているものの一つが「赤毛のアン」です。小学校の図書館で見つけた時にはシリーズでこんなにあるんだ！と

驚き、本を開いてまたも驚きました。字が細かく上下二段になっているのでこれは読むのに相当時間がかかる…と思ったものの、聖書と同じ段組みだから大丈夫、と変な自信がわき割と最後に近い巻まで読んだように思います。そして記憶に残るもう一冊は「モモ」です。この本がクローバー子供図書館からの本でした。毎週日曜日は教会へ家族と行っており、本好き子ども達のためにと、牧師先生方がクローバー子供図書館から百冊借りて下さっていた中であつた一冊です。返却日間近になると、その百冊を数えノートへ書く事がちよつとしたお手伝いでした。その後いつからか図書館が貸出しをやめてしまったと聞き残念に思ったことを覚えていました。

それからクローバー子供図書館のことは思い出の事となっていたのですが、郡山へ移り住んで後、その当時まだ一歳にもならない息子を連れて散歩をしていた時に変わった建物を見つけました。そしてそこが新しくなったクローバー子供図書館であることを知り、とても驚きました。まさかこんな近所に、しかも私があ頃お世話になった図書館に子ども達までお世話になれるとは。あの大地震の時にお友だちと外デッキリにいたこと、楽しみにしているお話会や工作の時、木のぬくもりのある温かい場所。ここで沢山の良い本に出会い、子ども達が大人になった時に思い出せたらどんなに嬉しいことかなと思います。



「赤毛のアンシリーズ」

(全10巻)

モンゴメリー/作

村岡花子/訳

講談社



「モモ」

ミヒヤエル・エンデ/作

大島かおり/訳

岩波書店



**6月3日  
第20回 子ども講座  
「まんげきょうをつくろう」**



反射板を三角に揃える作業は苦戦の様でしたが、お母さんの助けもあり、個性豊かな作品になりました。お手製の万華鏡で自分の世界ものぞいて見て下さい。

「まんげきょうをつくって」 薫小2年 すずきひなた

ぼくはまえからまんげきょうをつくるのがたのしみだった。  
とくにビーズをえらぶのがたのしかった。ぼくは  
大すきなみどり色のビーズをえらんだ。  
くるくる回しながらのぞいてみたら、  
キラキラの花がいっぱい  
見えて、たのし  
かった。

柴宮小5年  
伊藤楓太

ぼくがおすすめする本は、「からくり夢時計」という本です。この本を読んで、命という物はかんたんになくしてはいけないという事を強く感じました。このお話は、小さいころ母を亡くした男の子が母が生きていた時代にタイムスリップして、今まで知らなかった母の死について知るといものです。感動するので、ぜひ読んでみてください。

「からくり夢時計」  
川口雅幸/著  
アルファポリス



**こどもの読書週間  
「貸出無制限」**

**4月11日～5月12日**

たくさん読んだお友達の  
オススメの本です。

開成小2年 ごうつるま

わたしのおすすめの本は、びせいぶつのサバイバルです。ジオが、ピゴごうにのって、いろいろなカビやびせいぶつにあうところがおもしろいからです。みなさんも、ぜひ読んでみてください。



「微生物のサバイバル」  
ゴムドリ co./文  
韓賢東/絵  
朝日新聞出版

**5月12日  
こどもの読書週間  
「おたのしみ会」**

みんなが楽しみにしている「おたのしみ会」に、郡山市震災後子どものケアプロジェクト「読み聞かせ」

チームから、関根みどりさんを迎えて開催しました。エプロンシアター「はだかの王様」は、とても盛りあがりました。



**町探検**



6月28日、郡山市立開成小学校の2年生4グループ16名が、生活科の学習「町探検」で当館を訪れました。それぞれが考えてきた質問を順番に聞き、図書館の気になる場所を理解していました。初めて図書館の中に入ったお友達からは、「今度はお母さんと一緒に来ます！」との嬉しい声も聞かれました。次は、ぜひゆっくり本を借りに来てくださいね！



**開館日のごあんない**  
火・水・木・金・  
土(第1・3・5)  
午後1時～6時  
※月末は休館します。  
※8月15日、16日は休館します。

**お知らせ**

7月21日～8月24日の期間、開館時間を延長し、午前10時～午後6時まで開館します。

また、この期間の『えほんのじかん』は、午前10時と午後2時から開催します。

**編集後記**

もう7月になり、今年も半年が過ぎてしまいました。振り返ると盛りだくさんの提出物と行事に追われて、何だかわからないうちに月日が過ぎてしまいました。7月も七夕、夏休みクラブ、夏休み貸出無制限と子どもたちが楽しみにしている行事があります。七夕には、図書館の笹に子どもたちが願いごとをしたためた短冊を飾ります。今年の夏は猛暑だそうです。熱中症には十分に気をつけて、楽しい夏休みの話を聞かせて下さいね。

**寄贈図書**

この度ご縁があり、岡山県倉敷市にある「つづきの絵本屋」さんより絵本7冊をいただきました。ありがとうございました。



**こどもの読書週間**

**「元気におよげこいのぼり」**

4月18日～5月12日、図書館内をたくさんのおよげこいのぼりが元気におよぎました。こいのぼりのうらには、みんなにおすすめしたい本が書かれていて、こいのぼりを見て、お友達のおすすめ本を借りていく姿がみられました。



**～イベントのおしらせ～**

\*夏休み「貸出無制限」

7/18(火)～8/25(金)

\*夏休みクラブ(工作教室)

「光のうちわをつくろう」 7/26(水)

「鳥のおんどけいをつくろう」 7/29(土)

